

死生観の日中比較 靈魂観に差異はあるか

International Comparison of Belief in After-life Between Japan and China : Is there any Differences in their Beliefs to do with Spirits?

中 村 俊 哉 中 島 義 実 胡 金 生

Shunya NAKAMURA Yoshimi NAKASHIMA HU Jin-Sheng
福岡教育大学心理学系 福岡教育大学心理学系 中国遼寧師範大学心理学系
(平成17年9月30日受理)

要 約

日本の福岡, 沖縄の2地区, 中国の遼寧, 雲南地区の2地区において, 国際比較のための死生観尺度を用いて調査を行い, 日本と中国の死生観の比較を行うとともに, これらの尺度の中国語版の信頼性を検討した。この結果, 死者, 祖先との対話を行っていること, 祖先に花を供えることなど, 日中の共通性は高かった。違いとしては, 中国の方が靈魂の存在をあまり信じず, 死後は消滅すると考える人が多かったほか, 法事の持ち方も異なっていた。輪廻の発想は両国ともみられたが, 尺度値としては日本が高かった。死別うつ状態は, 日本の方が高かった。委任シャーマニズムは, 沖縄, 雲南で高く, 地域差が出た。全体的には, 共通する部分がきわめて多かった。

キーワード Dialogue with Ancestors, Obon, Reincarnation, Shamanism, Depression after death, Terminal Care

はじめに

筆者らは, 死生観とそれに基づく日常的ないとなみが, 同じアジアの人であっても大きく違うことに気づき, それらを比較することを思いついた。一番違うと感じたのは, 死者に対して報告をしたり, 話しかけるという日本においては日常的な行為を, 理解できない一群の人が居たことである。こうして, 中村・倉元・中島 (2004), および中村俊哉, 中島義実, 倉元直樹, 中村幸, イ・カデ・アンタルティカ (2005) に, アジアの4地域 (福岡, 沖縄, ベンガル, バリ) の死生観の比較を行うことが出来た。その結果, 魂の行方を決めるもの (神か, 魂自身か, 消滅かなど) や祖先との対話などで, 大きな地域差があった。祖先への働きかけは日本で高く, 神への働きかけはバリ島, ベンガルで高かった。また輪廻観などはゆるやかだ

がヒンドゥー地域の方が高かった。これらの研究を更に拡大し, 中国語版を作成して中国での実施を試みることにした。これらの調査の背景としては, 日本と中国の間には, 様々な誤解が存在することがある。お互いに文化的に似ているとの錯覚があるが, 実際には様々な違いの場面で文化的葛藤がみられる。死生観をめぐっても, この調査の半年後, 2005年4月には戦争における死者をどのように扱っているかをめぐって激しい反日運動が見られた。一方で, 死生観には東アジアの共通性が見られると考えられる。それらを客観的に明らかにするためには, 2国間比較だけでなく, インド, インドネシアといった異なる国との3角測定が必要である。このような比較対照のデータを持っている我々の一連の調査研究で, 両国文化の類似性と差異性について, 厳密な測定が可能になることと思われる。

注)

本研究は, 日本学術振興会科学研究費 (課題番号 13571007) の補助を受けた。

方法

調査対象者

- 1 福岡地区 213人(女性136人, 男性73人)にたいして, 大学における授業及び夏期の成人向けのセミナーにおいて集団法で実施した。2003年8月, 12月, 2004年2月に実施した。
- 2 沖縄地区 243人(女性110人, 男性103人)にたいして, 大学における授業及び夏期の成人向けのセミナーにおいて集団法で, さらに大学生, 大学院生, 及びその知人に持ち帰り記入の形で実施した。2003年8月, 10月, 2004年2月に行われた。
- 3 中国, 遼寧省大連の遼寧師範大学において, 273人(女性196人, 男性76人, 不明1)に対して, 授業(175人)および教師向け授業(98人)において集団法での記入の形で実施した。2004年10-12月に実施した。
- 4 中国, 雲南省昆明において, 日本人留学生に依頼し, 現地の学生に対して手渡しによる回収により実施した。13人(女性10人, 男性2人, 不明1)からの回収を得た。2004年9月から11月に実施した。データ数が少ないため, 今回の研究では参考にとどめる。

質問項目

- 1 魂の居場所(尺度ラベル: Place, 13項目)
- 2 魂の自律観と神の決定観(尺度ラベル: DTRM, 8項目)
- 3 お盆(尺度ラベル: OBS, 4項目)
- 4 霊魂尺度(尺度ラベル: DSS, 12項目)
- 5 祖先対話尺度(尺度ラベル: ADS, 4項目)
- 6 祖先, 神への働きかけ(尺度ラベル: GAA, 7項目)
- 7 輪廻尺度(尺度ラベル: RICN, 11項目)
- 8 因果尺度(尺度ラベル: CAUS, 2項目)
- 9 シャーマニズム尺度(尺度ラベル: SHS, 12項目)
- 10 神尺度(尺度ラベル: GS, 14項目)
- 11 終末論尺度(尺度ラベル: ES, 9項目)
- 12 シンクレティズム態度尺度(尺度ラベル: SCT, 5項目)
- 13 西沢のスピリチュアリティ尺度(尺度ラベル: SPS, 5項目)
- 14 Wongの死への態度尺度短縮版(尺度ラベル: DAPR, 10項目)
- 15 空想対話尺度(尺度ラベル: FDS, 5項目)
- 16 Singelis 1994のSelf-Construal Scale相互協

調性尺度(尺度ラベル: SCS 6項目)

- 17 Dienerら1985の人生満足度尺度(尺度ラベル: SWLS 5項目)
- 18 死別うつ尺度
- 19 宗教別人数
- 20 ターミナルケア項目
- 21 自分の葬式の希望形態
- 22 家族構造とコミュニティ
- 23 一般健康調査(尺度ラベル: GHQ12 12項目)
- 24 年齢, 性別など

翻訳およびバックトランスレーション

中国語の翻訳とバックトランスレーションを行った。翻訳の用語が大きく異なるところは, それぞれの表に中国語を明示した。

1 魂の居場所(項目ラベルPlace)

「イメージで結構ですが, 魂があるとして, 死後に魂がいるのはどこだと思いますか」という問いにより, 死後の魂の所在について聞いたものである。魂の居場所と想定されるものは, 必ずしも1カ所に特定できるものではない。「いくつでも〇をつけてください」と複数選択を明記することとした。

中国遼寧省では, 「天の上の方」という考えは日本とほぼ同じく高い。日本に比べ「山の上」は高く, 「海の彼方」は沖縄よりも中国遼寧省が高かった。「家の中」, 「敷地」は日本とさほど変わらないが, 「お墓」というのはきわめて低い。中国では墓は町の中に立てないと言われ, 墓の扱いがきわめて異なる。「地下」という考えは日本ではほとんどなかったが, 中国では7%も見られた。伝統的な考え方がうかがえる。「大切な人のそば」というのは, 日本と同じくらい高く, 45%となった。

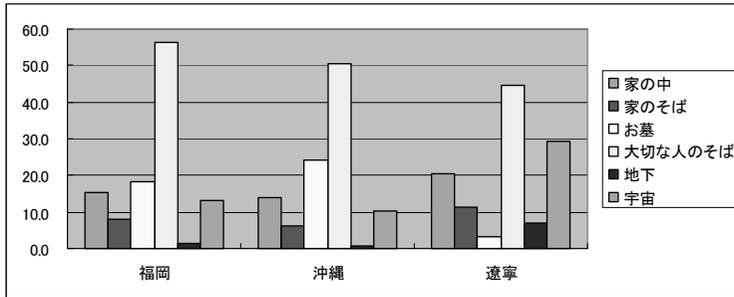
これをグラフにすると, グラフ1のようになる。家の中, 大切な人のそばは遼寧, 福岡, 沖縄に多く, お墓は沖縄, 福岡に多く, 地下は遼寧だけに見られ, 宇宙は遼寧, 福岡, 沖縄に見られた。

死生観の日中比較 靈魂観に差異はあるか

表1 Place 魂のいる場所 (複数選択)

魂の居場所		福岡		沖縄		遼寧		雲南	
Place	母数	212	%	236	%	275	%	13	%
1	天の上の方	92	43.4	94	39.8	124	45.1	1	7.7
2	山の奥深く	11	5.2	6	2.5	35	12.7	1	7.7
3	海のかなた	11	5.2	20	8.5	44	16.1	1	7.7
4	家の中	33	15.5	33	14.0	56	20.4	1	7.7
5	家のそば、敷地	17	8.0	15	6.4	31	11.3	0	
6	お墓	39	18.3	57	24.2	9	3.3	0	
7	どこか分からないところ	67	31.5	70	29.7	88	32.0	1	7.7
8	地の下の方	3	1.4	2	0.8	19	6.9	0	
9	宇宙の遠いところ	28	13.1	24	10.2	80	29.1	0	
10	大切な人のそば	120	56.3	119	50.4	123	44.7	3	23.1
11	別世界	89	41.8	104	44.1	155	56.4	2	15.4
12	月の世界	2	0.9	6	2.5	4	1.5	0	
13	その他	23	10.8	16	6.8	32	11.6	5	38.5

グラフ1 家の中、家のそば、お墓、大切な人のそば、地下、宇宙の4地域比較



2 魂の自律観と神の決定観 (Dtrm)

「死後の処遇を誰が決めるのか」についての8項目の質問について、「そう思わない」～「そう思う」の5件法で回答してもらった。得点化する場合は、「そう思わない」が1点～「そう思う」が5点とした。

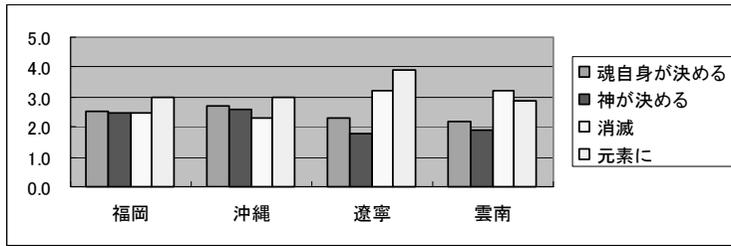
中国では「神が決める」という考えも、「魂自身

が決める」という考えも少ない。また、「消滅」、「還元」は極めて高い。これから見ると、確かに中国は唯物論化している（あるいは元々そうである）のだが、「残されたものへのつとめの影響感」では、中国はインド（中村他2005）と同じぐらい高い。

表2 魂の自律観と神の決定観

魂の自律観・神の決定観尺度		福岡		沖縄		遼寧		雲南	
		209	%	236	%	276	%	13	%
魂自身が決める	DTRM1	2.51	1.20	2.69	1.24	2.25	1.36	2.15	1.28
魂自身が決める2	DTRM5	2.32	0.99	2.40	1.11	2.00	1.22	2.54	1.56
魂の格、レベル	DTRM6	2.25	1.16	2.30	1.24	1.85	1.15	2.23	1.17
神が決める	DTRM2	2.50	1.27	2.62	1.24	1.83	1.15	1.85	0.90
神が審判	DTRM7	2.37	1.27	2.55	1.27	1.83	1.16	1.92	1.08
布施の影響	DTRM8	2.10	1.05	2.20	1.11	2.99	1.46	2.77	1.54
魂は消滅	DTRM3	2.48	1.23	2.28	1.20	3.21	1.46	3.23	1.36
魂も大自然の元素に	DTRM4	2.97	1.24	3.00	1.19	3.91	1.15	2.85	1.46

グラフ2 死後を決めるもの、消滅、還元の4地域比較



3 お盆 OBS

お盆についての質問は4項目である。うち3項目は尺度として表3に示した。沖縄、福岡が高く、遼寧は低かった。F(2,721)=278.2*** (以下, ***はP<0.001)

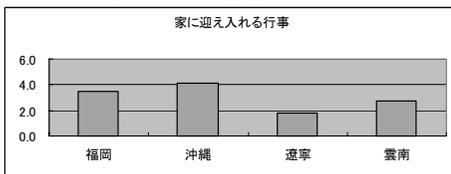
なお、OBN4は、「あなたの考えでは死者、祖

先が戻るのは、いつですか。あてはまるところに、いくつでも○をつけてください(OBS4)」への回答結果である。表4に示す。お盆は、中国東北地方では36%と日本より低かったが、存在していた。雲南省では、データは少ないが、福岡並みに高くなった。

表3 お盆尺度

お盆尺度	福岡			沖縄			遼寧			雲南			
	n、α	係数											
		211	0.47		240	0.56		274	0.52		13	0.24	
		平均	SD	相関									
OBS1	魂を家に迎え入れる	3.47	1.54	0.34	4.16	1.34	0.45	1.77	1.33	0.33	2.69	1.6	-0.17
OBS2	死者にも食事を出す	2.48	1.51	0.33	3.55	1.55	0.43	1.84	1.32	0.42	2.69	1.49	0.55
OBS3	海で泳いではいけない	2.55	1.55	0.20	4.04	1.28	0.25	1.86	1.26	0.26	2.54	1.56	0.18
	尺度値	8.49	3.2		11.8	3.06		5.47	2.79		7.92	2.93	

グラフ3 お盆OBS1の各国比較



「死者の魂を迎え入れる行事」(お盆)は、沖縄、福岡、雲南の順で多く、遼寧では少なかった。

表4 魂の戻る時期

日本語版項目	中国版	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
度数/%		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
新盆	鬼節(新)	129	60.6	63	26.5	17	6.2	0	
旧盆	鬼節(旧)	75	35.2	190	79.8	100	36.4	4	30.8
清明節	清明節	0	0	86	36.1	88	32.0	3	23.1
春分	春分	15	7	6	2.5	1	0.4	0	
新正月	元旦(西暦)	31	14.6	45	18.9	10	3.6	0	
旧正月	元旦(農歴)	8	3.8	71	29.8	96	35.0	0	
秋分	秋分	15	7	7	2.9	5	1.8	0	
イースター	復活祭	1	0.5	1	0.4	16	5.8	0	
その他	その他	9	4.2	9	3.8	13	4.7	3	23.1
いつもいる	いつもいる	60	28.2	38	16.0	40	14.5	4	30.8
戻らない	戻らない	24	11.3	18	7.6	80	29.1	0	
なし	死者去岁的記念日	なし		なし		82	29.8	2	15.4

死生観の日中比較 靈魂観に差異はあるか

遼寧では、魂が戻る日時については「旧正月」、「清明節」、「旧暦の盆（農曆の鬼節）」が30%以上になったことから、魂が戻るというイメージについては健在であることが分かる。遼寧では「戻らない」とした比率が29%と、日本より高い。雲南省ではデータは少ないが「戻らない」とする人がおらず、「いつも居る」という人がバリ、福岡に次いで多い。なお、「死者の記念日」の項目は、日本では実施していないので比較できない。表には「なし」と記載した。

4 靈魂尺度 (DDS)

霊、魂に関する12項目による尺度を用いた。「そう思わない」～「そう思う」の5件法で回答して

もらった。得点化する場合は、「そう思わない」が1点～「そう思う」が5点とした。中国語版でも、一定程度高い信頼性を示した。

靈魂尺度は、全体的に中国東北部は低く出た。3地域で比較すると $F(2,708)=94.4^{***}$

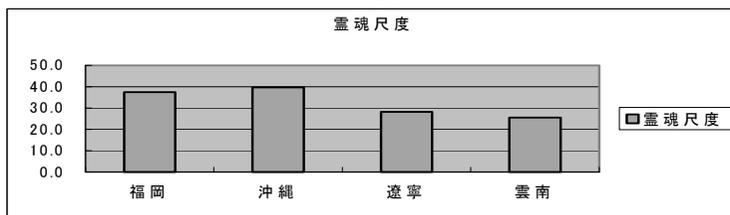
雲南ではさらに低い値が出ている。このように、靈魂の存在を信じない傾向が中国で強い。

なお、中国ではDSS8「幽霊が出そうでトイレが怖い」だけが日本より高く、この項目と「道に花束」をおくという項目が中国版尺度では全体と別の動きをしていたため尺度一貫性をやや押し下げていた。

表5 靈魂尺度

靈魂尺度	n、α係数	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		平均	SD	相関									
DSS1	道に花束	3.67	1.03	0.46	3.81	1.03	0.31	2.27	1.36	0.20	2.64	1.36	0.58
DSS2	人に霊が付	3.25	1.23	0.74	3.78	1.10	0.65	2.39	1.37	0.56	2.09	1.14	0.82
DSS3	魂は存続	3.36	1.18	0.6	3.51	1.11	0.62	2.61	1.41	0.55	2.36	1.21	0.45
DSS4	お墓の近く霊怖い	3.69	1.27	0.75	3.97	1.12	0.60	3.41	1.4	0.53	2.73	1.56	0.86
DSS5	たたり	3.36	1.28	0.78	3.65	1.17	0.72	2.38	1.33	0.60	2.09	1.14	0.82
DSS6	人の手を動かして文字を指す	2.32	1.18	0.6	2.56	2.91	0.29	1.82	1.05	0.50	2.00	1.34	0.59
DSS7	お化けや幽霊が怖い	3.6	1.32	0.67	3.74	1.23	0.49	2.87	1.54	0.45	2.09	1.22	0.57
DSS8	地上にさまよう霊多数	3.36	1.32	0.75	3.67	1.15	0.69	2.32	1.84	0.37	2.27	1.42	0.58
DSS9	幽霊でトイレ怖い	2.59	1.35	0.59	2.46	1.35	0.45	3.14	2.75	0.28	2.09	1.45	0.47
DSS10	祖先の霊がドアの音	1.83	1.07	0.48	1.91	1.09	0.45	1.39	0.77	0.36	1.55	0.82	0.37
DSS11	霊の怨念を鎮め解決	2.69	1.28	0.74	2.85	1.33	0.60	1.91	1.16	0.45	1.73	0.79	0.76
DSS12	水子の霊供養	3.68	1.25	0.54	3.75	1.22	0.54	1.77	1.09	0.41	2.00	1.00	0.78
	尺度値	37.4	10.5		39.7	9.8		28.3	9.51		25.6	10.2	

グラフ4 靈魂尺度の4地域比較



5 祖先対話尺度 (ADS)

日本で日常的に見られる、祖先、死者への対話、報告についての尺度である。「そう思わない」～「そう思う」の5件法で回答してもらった。得点化する場合は、「そう思わない」が1点～「そう思う」が5点とした。

祖先対話尺度は、中国版でも一定程度の高い信

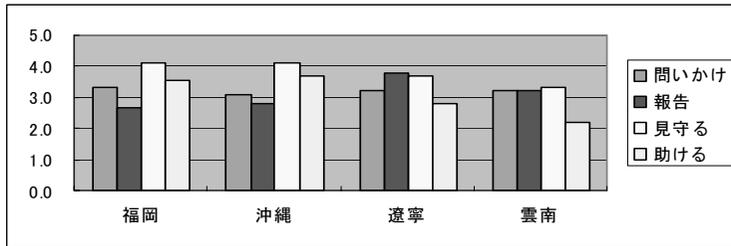
頼性を示した。祖先対話尺度は中国東北部では日本とほぼ同じ値を示し、祖先、死者と対話をしている実態が明らかとなった。 $F(2,722)=0.26$ n.s.

なお、雲南省の少ないデータでは、中国東北部や日本よりも祖先対話は低いが、ジャカルタ、インドよりもきわめて高い(中村2005b) ことには変わらない。

表6 祖先対話尺度

祖先対話尺度		福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n=213	0.84		n=242	0.76		273	0.73		13	0.46	
n、 α 係数		平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関
問いかける	ADS1	3.3	1.3	0.72	3.09	1.43	0.55	3.15	1.59	0.42	3.15	1.57	0.25
近況報告や感謝	ADS2	2.7	1.4	0.62	2.75	1.33	0.58	3.84	1.28	0.57	3.15	1.21	0.46
見守る	ADS3	4.1	1.1	0.71	4.08	1.05	0.54	3.66	1.42	0.60	3.31	1.18	0.09
助ける	ADS4	3.6	1.1	0.66	3.68	1.14	0.60	2.83	1.51	0.50	2.23	1.24	0.28
尺度値		13.8	4.0		13.6	3.8		13.5	4.31		11.85	3.24	

グラフ5 死者、祖先への問いかけ、報告等の4地域比較



6 祖先、神等への働きかけ GAA

表7 祖先、神等への働きかけ1-4

祖先、神等への働きかけ1-4	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
	n	%	n	%	n	%	n	%
GAA1 お供えの食べ物をおくのは、	212		239		277		12	
神に	25	11.8	16	6.7	26	9.5	2	16.7
死者、祖先に	187	88.6	208	87.0	198	72.3	3	25.0
土地の神や霊に	35	16.5	45	18.8	14	5.1	0	
仏・菩薩に	36	17.0	13	5.4	94	34.3	1	8.3
その他	1	0.5	7	2.9	12	4.4	3	25.0
お供えをしない	12	5.7	12	5.0	57	20.8	3	25.0
GAA2 死者の魂の平安を祈るのは、								
神に頼む	31	14.6	32	13.4	58	21.1	2	16.7
死者の魂に直接祈る	181	85.4	201	84.5	111	40.4	2	16.7
仏・菩薩に	46	21.7	10	4.2	130	47.3	2	16.7
その他	6	2.8	4	1.7	14	5.1	5	41.7
祈らない	7	3.3	8	3.4	39	14.2	3	25.0
GAA3 元気でいることを感謝するのは、								
神	30	14.2	24	10.0	38	13.8	2	16.7
唯一神	12	5.7	15	6.2	15	5.5	1	8.3
祖先、死者	147	69.3	148	61.4	143	52.0	1	8.3
土地の神や霊	15	7.1	24	9.9	7	2.5	2	16.7
仏・菩薩	32	15.1	9	3.7	108	39.3	1	8.3
その他「親」	34	16.1	30	12.4	21@	7.6	6	50.0
しない	21	10.0	40	16.6	17	6.2	2	16.7
GAA4 苦しいときに助けを求めるとは、								
神	47	22.2	40	16.6	41	14.9	2	16.7
唯一神	24	11.3	16	6.6	項目なし		項目なし	
祖先、死者	105	50.0	102	42.3	88	32.0	0	
土地の神や霊	11	5.2	11	4.5	9	3.3	0	
仏・菩薩	34	16.0	7	2.9	101	36.7	0	
その他「親・友」	24	11.3	31	12.9	75	27.3	9	75.0
求めない	40	18.9	48	19.9	20	7.3	1	8.3

お供えの食べ物 (GAA1) は、中国では死者、祖先に対しては、日本と同じほどの高い値であった。日本よりも、仏、菩薩に対してのお供えが高

く、お供えをしない人も高い。土地の神に対するお供えは、少ない。

中国では、死者の平安のために (GAA2) 神に

死生観の日中比較 靈魂観に差異はあるか

祈る比率は日本より高く、死者へ直接的な祈りはやや少ないものの、他の文化圏に比しては日本と近い。日本に比して高いのは、仏、菩薩に対しての祈りである。また、祈らない人も14%と高い。

「健康を感謝する（GAA3）」、「苦しいときに助けを求める（GAA4）」も、中国では、祖先、死者に対して高く、日本と似ている。ただし、仏、菩薩に対するものが日本より高い。

表8 祖先、神等への働きかけ5-7

祖先、神等への働きかけ5-7	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
	人数	%		人数	%		人数	%		人数	%	
GAA5 家のなかに祈りの場があるのは、	212			237			275			12		
神	34	16.0		33	13.8		16	5.8		2	16.7	
唯一神	4	1.9		4	1.7		項目なし			項目なし		
祖先、死者	152	71.7		161	67.1		161	58.5		2	16.7	
土地の神や霊	14	6.6		28	11.7		13	4.7		0		
仏・菩薩に	56	26.3		8	3.3		94	34.2		1	8.3	
その他	1	0.5		4	1.7		7	2.5		4	33.3	
ない	31	14.6		30	12.5		68	24.7		4	33.3	
GAA6 死後はどこに行きたいですか												
神の許へ行きたい	21	10.0		21	8.9		9	3.3		0		
神と合体したい	1	0.5		2	0.8		8	2.9		0		
解脱したい	10	4.7		13	5.5		41	15.0		0		
次の人生を送りたい	89	42.2		109	46.0		125	45.8		5	41.7	
仏の許へ	13	6.1		5	2.1		18	6.6		0		
先に死んだ家族や知人のいるところへ	142	67.3		141	59.5		176	64.5		5	41.7	
GAA7 花をささげるのは、												
神に	17	8.0		12	5.0		19	6.9		0		
祖先、死者	189	89.6		195	81.9		225	81.8		5	41.7	
土地の神や霊	21	9.9		24	10.0		8	2.9		0		
仏・菩薩に	28	13.1		5	2.1		56	20.4		0		
その他	1	0.5		3	1.3		15	5.5		6	50.0	
花をささげない	16	7.5		23	9.6		25	9.1		1	8.3	

中国では死後に「家族の許にゆきたい」が65%と日本とまったく同じように高率となった。「次の人生を送りたい（輪廻したい）」も日本と極めて似た分布となった。違いがあるとすると「解脱したい」が日本よりも高く、仏教思想が元々強く入り込んでいたことをうかがわせる。「神の許」というのは少なかった。なお、雲南省は、データ数が少

ないため「次の人生（輪廻）」と「家族の許」のみとなり、東北地方と全く異なる結果であった。

花をささげる先（GAA6）も、「死者、祖先」が極めて高く、日本とまったく類似していた。なお、中村ほか（2005）の表9、10に相当するものは省略する。

7 輪廻尺度（RICN）

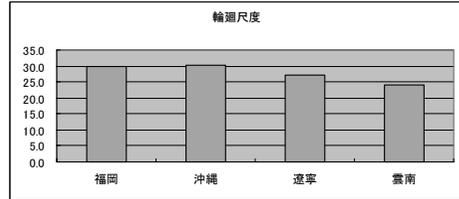
表9 輪廻尺度

輪廻尺度	n, α係数	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n=207	0.92		n=232	0.92		n=271	0.90		12	0.94	
		平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関
前に別の人間	Ricn1	2.4	1.4	0.65	2.5	1.4	0.54	2.38	1.51	0.61	2.00	1.21	0.52
人間に再生	Ricn2	2.9	1.4	0.79	2.9	1.3	0.80	2.60	1.52	0.77	2.25	1.06	0.82
生命に再生	Ricn3	2.9	1.4	0.85	3.0	1.3	0.84	2.53	1.47	0.78	2.00	1.13	0.86
何度も生まれ変わる	Ricn4	2.6	1.3	0.67	2.6	1.3	0.70	2.45	1.44	0.74	2.42	1.38	0.87
天国から人間に戻る	Ricn5	2.9	1.4	0.81	2.9	1.4	0.80	2.30	1.39	0.74	1.92	0.90	0.86
地獄で修行し天国に	Ricn6	2.5	1.2	0.68	2.6	1.3	0.70	2.39	1.47	0.67	2.00	1.21	0.78
前世の記憶	Ricn7	2.7	1.4	0.63	2.7	1.3	0.60	2.51	1.46	0.46	2.25	1.14	0.51
動物になる	Ricn8	3.3	1.3	0.67	3.2	1.4	0.67	2.80	1.51	0.59	2.50	1.38	0.85
良いこと	Ricn9	2.3	1.1	0.60	2.3	1.2	0.64	2.34	1.37	0.60	2.42	1.38	0.84
楽しみ	Ricn10	2.7	1.3	0.56	2.8	1.3	0.55	2.04	1.34	0.51	2.00	1.35	0.58
動物は魂	Ricn11	2.7	1.3	0.76	2.7	1.3	0.71	2.70	1.54	0.59	2.25	1.29	0.67
尺度値		30.0	11.0		30.3	10.9		27.1	11.4		24.0	10.6	

輪廻尺度は、中国版でも高い信頼性を示した。輪廻尺度は、中国では低く日本では高かった。 $F(2,707)=6.43^{**}$ $**P<0.01$ 世界的に見ると、中国はイスラム地区の値より少し高い。

輪廻による来世の人生を日本人は楽しみにする傾向があるが、中国ではこれは低い。

グラフ6 輪廻尺度の4地域比較



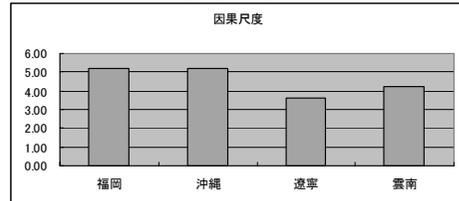
8 因果尺度CAUS

表10 因果尺度

因果尺度	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
	n, α 係数	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	
この世でよい人生を生きないと、次に生まれ変わるときあまりよくない人生になる	Cause1	2.5	1.3	2.4	1.4	2.7	1.33	2.08	1.17	2.17	1.34	
この世で良い人生を生きれば、死後の世界はずばらしいものになる	Cause2	2.7	1.3	2.7	1.3	2.13	1.33	2.17	1.34	2.17	1.34	
		5.2	2.4	5.2	2.5	3.59	1.81	4.25	2.49			

いわゆる、業、因果的な考え方を聞く項目である。因果尺度は、そもそもこれが低いとされる日本の尺度値よりも、中国の値はさらに低い。 $F(2,721)=219.5^{***}$

グラフ7 因果尺度の4地域比較



9 シャーマニズムSHS

1) 変容シャーマニズム

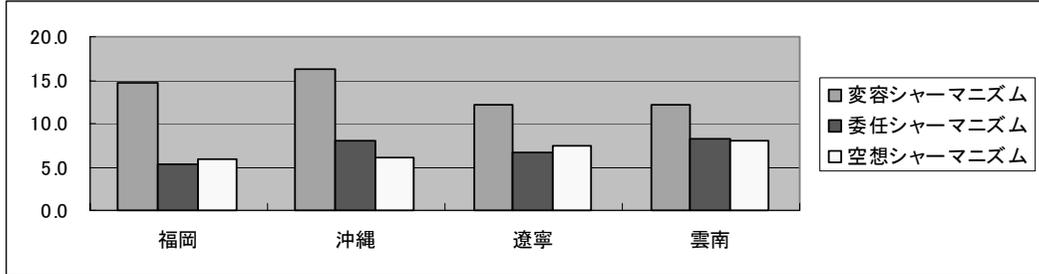
表11 変容シャーマニズム

変容シャーマニズム	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n, α 係数	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	
靈感の強い人	SHS2	3.24	1.41	3.52	1.30	2.30	1.28	2.46	1.20	2.46	1.20		
心身に聖なる変化	SHS5	2.58	1.40	2.94	1.28	2.28	1.33	2.38	1.39	2.38	1.39		
意識状態が変わる	SHS6	2.74	1.37	3.07	1.22	2.18	1.32	2.08	1.12	2.08	1.12		
魂の意志を読みとる人	SHS7	2.91	1.37	3.46	2.38	2.31	1.42	2.23	1.30	2.23	1.30		
夢の中のメッセージ	SHS8	3.10	1.24	3.23	1.20	3.26	1.42	3.15	1.35	3.15	1.35		
尺度値		14.6	5.6	16.2	5.6	12.3	5.06	12.3	4.17				

中村, 倉元, 中島 (2004) の尺度に沿って尺度値を比較した。変容シャーマニズムは、自分の精神が霊的な力, 魂, 神によって変容するという信

念を示している。遼寧, 雲南ともに、沖縄, 福岡より低い。3地区のデータ分析からは、 $F(2,718)=915.7^{***}$ である。

グラフ8 シャーマニズム3尺度の4地域比較



2) 委任シャーマニズム

表12 委任シャーマニズム

委任シャーマニズム2	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n	α	係数	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関
呪術師に相談	SHS3	213	0.83		2.21	1.29	0.58	1.97	1.29	0.56	1.92	1.24	0.62
呪術師の所に行った	SHS4	213	0.83	.60	2.11	1.54	0.60	1.88	1.42	0.52	2.25	1.36	0.93
死者の言いたかったことを知る	SHS11	213	0.83	.75	1.83	1.22	0.77	1.47	0.94	0.66	1.92	1.08	0.90
祖先の考えを言葉に	SHS12	213	0.83	.81	1.77	1.20	0.79	1.37	0.8	0.62	2.17	1.53	0.82
尺度値		5.26	2.52		7.9	4.3		6.69	3.48		8.25	4.67	

委任シャーマニズムは、シャーマン（例えばユタ、オージャ、バリヤン）への信頼を表している。死者や祖先の魂と交信するシャーマンを信じるか、そのようなシャーマンを訪れるかという項目群である。中国東北部の遼寧では、福岡より高いが沖縄より低い。

F(2,720)=390.7*** 多重比較も全て有意。

雲南省では沖縄より高く、バリ島、インドに次ぐ高い値（中村他2005）となった。委任シャーマニズムは、シャーマンが文化的に容認されている地域、つまりインドネシアバリ島（バリヤン）、インドベンガル地方（オージャ、ロージャ）、日本の沖縄（ユタ）で高いとされる。雲南省については、シャーマンについての情報は筆者の手元にない

が、容認されている文化と思われる。遼寧省の大連は、福岡と同じような世俗的な地区であると言えよう。

3) 空想シャーマニズム

空想シャーマニズム尺度は、空想の中で上昇したり、良いアイデアが浮かんだり、超常的な能力の素質があるかどうかを示している。中国は福岡、沖縄より高い。F(2,724)=27.0***

なお、世界的に見ると、遼寧の値はインドよりは低いものの、高い位置にある。データは少ないが雲南省はインド以上の値である。空想的な資質は旺盛だが、遼寧ではそれを具体的なシャーマンから切り離している。

表13 空想シャーマニズム

空想シャーマニズム	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n	α	係数	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関
心が体を離れる	SHS1	213	0.61		2.19	1.09	0.57	2.60	1.41	0.44	2.54	1.27	0.75
いい考えが浮かぶ	SHS9	213	0.61	0.22	1.97	1.30	0.22	2.85	1.63	0.23	2.77	1.64	0.79
神や死者のメッセージ	SHS10	213	0.61	0.55	1.75	1.06	0.52	2.00	1.16	0.43	2.54	1.39	0.36
尺度値		5.70	1.21		6.03	2.66		7.41	3.05		7.85	3.58	

10 神尺度（神との対話）GS

神への信仰，神との相互作用，神への帰依などを聞く質問を集めた尺度である。「あてはまらない」～「あてはまる」の5件法で回答してもらった。得点化する場合，「あてはまらない」が1点～「あてはまる」が5点とした。

中国語版も，高い信頼性を示した。中国の尺度値は，日本のそれとまったく変わらない。 $F(2,697)=1.01$ n.s.

雲南はやや高いが，世界的にはこれらとはともに低い値であり，インド，インドネシアよりもきわめて低い（中村2005b）。

表14 神尺度

神尺度	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関
n、α係数		204	0.91		227	0.91		267	0.90		12	0.97	
神の存在を信じる	GS1	3.12	1.3	0.71	3.23	1.3	0.65	2.74	1.5	0.69	2.25	1.1	0.53
心の中で神に助けを求める	GS2	3.33	1.4	0.71	3.26	1.4	0.69	3.39	1.4	0.59	2.67	1.4	0.47
私は、唯一の絶対神に祈る	GS3	2.08	1.2	0.62	2.10	1.2	0.62	2.27	1.4	0.40	2.58	1.6	0.88
神が自分を評価して成功	GS5	2.34	1.2	0.65	2.43	1.2	0.74	1.86	1.2	0.66	2.33	1.3	0.96
つらい試練を与える	GS6	2.9	1.4	0.70	2.97	1.3	0.70	2.30	1.4	0.61	2.33	1.5	0.84
神の私への厳しい意志	GS7	1.71	1.0	0.65	1.82	1.0	0.53	1.78	1.1	0.60	2.17	1.3	0.96
人生の岐路に答えをもらう	GS8	1.94	1.1	0.72	2.05	1.1	0.72	1.93	1.2	0.69	2.00	1.2	0.93
おみくじなどで、神の考えの示唆	GS9	2.16	1.2	0.64	2.15	1.1	0.56	2.25	1.3	0.61	2.42	1.4	0.98
神の名を口、心で言う	GS10	1.37	0.9	0.59	2.21	1.4	0.65	2.25	1.4	0.67	2.08	1.2	0.91
毎日何回も祈る	GS11	2.00	1.2	0.50	1.39	0.8	0.58	1.84	1.1	0.62	2.25	1.4	0.94
神によって生かされている	GS12	1.74	1.1	0.70	1.90	1.2	0.66	1.49	0.9	0.57	2.00	1.1	0.82
神が降り意識状態が変わる	GS13	1.74	1.1	0.52	1.71	1.0	0.57	2.11	1.4	0.58	2.25	1.3	0.88
神社や聖なる樹林(うたき)に神が降臨	GS14	2.07	1.3	0.55	2.31	1.3	0.51	2.68	1.5	0.56	2.42	1.6	0.79
	尺度値	28.9	11.0		29.5	10.8		28.9	11.2		29.8	15.1	
唯一神に祈らない方に		n=166		77.6%	n=185		75.2%	n=265		95.3%	n=12		85.7%
基礎となる一つの名のない神	GS4	2.66	1.4	yes33.7%	2.89	1.3	yes32.5%	2.54	1.4	yes30.6%	1.83	1.0	yes8.3%

「唯一神に祈る」(GA3)という人（5件法で，4（ややあてはまる），5（あてはまる）を足した値）は，福岡で30人（14.3%），沖縄で34人（14.4%），遼寧で61人（22.4%）であり，中国の方が倍近く高かった。

唯一神に祈らない人に限って聴いた「いろいろな神のかたちがあるが，それらの基礎となる一つの名のない神の存在がある」(GS4)に対して，5件法で，4（ややあてはまる），5（あてはまる）を足した値が，福岡では33.7%，沖縄では32.5%，遼寧では30.6%でほぼ同じ程度であった。

つまり，両国とも一神教を信じていないひとでも唯一神に祈ることはあり，さらに唯一神に祈ることがない人でも，その3割以上は神々の基礎に一つの名のない神を想定している。

11 終末論尺度ES

遼寧，雲南とも日本よりは高い。雲南省の方が高く出た。これらのくわしい分析は，今後を待ちたい。

表15 終末論尺度

終末論尺度	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関
n、α係数		208	0.85		233	0.87		274	0.73		11	0.92	
近いうちに終わりの日	ES1	2.3	1.2	0.59	2.36	1.3	0.51	1.89	1.21	0.41	1.82	1.08	0.71
地震や災害は終末の前兆	ES2	2.3	1.1	0.63	2.31	1.2	0.66	3.38	1.48	0.27	2.91	1.51	0.48
信仰によって永遠の命	ES3	1.7	1	0.42	1.80	1.1	0.58	1.85	1.22	0.49	1.82	1.17	0.75
終わりを決定する絶対者	ES4	1.5	0.9	0.59	1.62	1.0	0.71	1.66	1.13	0.48	2.09	1.22	0.45
近いうちにやってくる	ES5	2.1	1.2	0.62	2.04	1.2	0.64	1.31	0.74	0.44	1.82	0.99	0.72
終末予言信じる	ES6	1.8	1.0	0.69	1.85	1.1	0.74	2.23	1.41	0.47	2.36	1.50	0.67
終末予言怖い	ES7	2.6	1.4	0.37	2.79	1.4	0.35	2.02	1.35	0.28	2.00	1.34	0.80
矛盾が解決される救済の日	ES8	1.6	0.9	0.64	1.89	1.0	0.67	1.95	1.32	0.49	2.27	1.35	0.96
終末の日救済者が来臨	ES9	1.7	0.9	0.61	1.80	1.1	0.66	1.90	1.24	0.43	2.27	1.56	0.90
	尺度値	17.7	6.5		18.5	7.2		18.2	6.34		19.36	9.14	

12 シンクレティズム態度尺度SCT

遼寧は日本の値とおなじほど高いが、雲南省はやや低い。これらの分析は今後を待ちたい。

表16 シンクレティズム態度尺度

シンクレティズム尺度	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n, α 係数	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD
自宗派以外で祈る	SCTS1	211	0.81		237	0.80		271	0.70		12	0.83	
宗教対立減る	SCTS2	3.46	1.2	0.66	3.20	1.2	0.66	2.77	1.41	0.52	2.67	1.44	0.36
取り入れたり融合可	SCTS3	2.83	1.2	0.48	2.84	1.2	0.54	2.62	1.37	0.53	3.17	1.27	0.89
伝統文化のやり方を残す	SCTS4	3.64	1.2	0.69	3.39	1.2	0.67	3.79	1.31	0.47	3.25	1.42	0.75
子どもの儀式	SCTS5	3.59	1.0	0.56	3.47	1.0	0.53	3.38	1.32	0.39	2.83	1.27	0.66
尺度値		3.48	1.2	0.59	3.50	1.1	0.54	3.38	1.18	0.40	3.00	1.48	0.57
尺度値		17.0	4.3		16.5	4.3		16.4	4.48		14.9	5.32	

13 スピリチュアリティ尺度

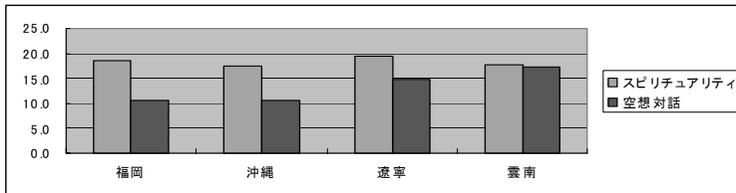
表17は、西沢(1998)のスピリチュアリティ尺度による比較である。それぞれ、ヌミノーゼ、荘厳

な自然、荘厳な聖域、マナ、アニミズムをはかったものである。遼寧省では比較的高いものの、雲南省、沖縄は低めであった。

表17 スピリチュアリティ尺度

スピリチュアリティ尺度	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n, α 係数	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD
神秘的な力	SPS1	212	0.72		234	0.74		274	0.55		13	0.53	
打たれたような感動	SPS2	2.83	1.2	0.41	2.74	1.5	0.40	2.54	1.48	0.26	2.46	1.20	0.33
神秘的な力	SPS3	4.16	0.9	0.51	4.00	1.1	0.48	4.45	1.02	0.22	4.00	1.20	0.30
敬虔な感動	SPS4	3.81	1	0.65	3.75	1.2	0.60	3.97	1.27	0.47	3.62	1.20	0.30
森羅万象に命	SPS5	3.58	1.1	0.43	3.14	1.3	0.54	3.77	1.37	0.39	3.23	1.42	0.22
尺度値		4.14	0.9	0.44	3.95	1.1	0.55	4.77	0.69	0.26	4.38	0.77	0.37
尺度値		18.5	3.6		17.6	4.3		19.5	3.57		17.7	3.43	

グラフ9 空想対話尺度とスピリチュアリティ尺度



14 死への態度尺度

表18はWongらの尺度による比較である。「そう思わない」～「そう思う」の5件法で回答してもらった。得点化する場合は、「そう思わない」が1点～「そう思う」が5点とした。

死への態度尺度は、5つの下位尺度に分かれている。

「接近受容」は中国よりも日本の方が高い (F2,722) =12.9***)。

「死への恐怖不安」も日本が高い (F2,718) =10.0***)。

「死からの回避」では日中間に差はない (F2,720) =0.8n.s.)。

「死は解放」では、日本は比較的低い値を示し、

中国では高い (F2,715) =24.0***)。世界的には、中国ではインド、バリ島などと並んで高い値である。

「死の自然受容」は、日本は低く、中国はきわめて高い値を示した (F2,721) =149.9***)。これは、世界的には日本が低い傾向がある (中村 2005b, 8 章)。

それぞれは、2項目で短縮版としたが、下位尺度内の項目相関は高く、十分な信頼性を持つといえよう。日本は、死が自然ではなく、恐怖に思っているが、受容はしている。一方、中国では死は恐怖ではなくて自然であるが、解放である点が大きく異なる。

表18 死への態度尺度

Wongの死への態度尺度10項目短縮版				福岡			沖縄			遼寧			雲南		
			n	213	0.77		236	0.82		276	0.84		13	0.86	
				平均	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	
DAPR1	接近受容1	Wong16	死んだあとには、新しい輝かしい生が約束されている	2.59	1.13	2.32	1.27		2.04	1.30		2.23	1.30		
DAPR2	接近受容2	Wong15	死んだあとには、神との出会いがあり、永遠の恵みがもたらされる	2.17	1.02	2.50	1.33		1.92	1.20		1.85	0.90		
	下位尺度合計			4.77	1.94	0.62	4.82	2.13	0.74	3.96	2.32	0.72	4.08	2.10	0.82
DAPR3	死への恐怖不安1	Wong32	死んだあと何が起るか分からないので、私は心配である	2.69	1.35	2.69	1.32		2.11	1.42		2.54	1.33		
DAPR4	死への恐怖不安2	Wong18	私は死を非常に恐れている	3.10	1.32	3.03	1.30		2.84	1.52		3.38	1.33		
	下位尺度合計			5.79	2.33	0.52	5.72	2.27	0.50	4.95	2.48	0.43	5.92	1.85	-0.03
DAPR5	死からの回避1	Wong19	私は、死について考えることを全く避けている	2.28	1.05	2.26	1.04		2.03	1.24		2.46	1.61		
DAPR6	死からの回避2	Wong12	私は、いつも死について考えないようにしている	2.24	1.04	2.39	1.17		2.39	1.45		2.54	1.45		
	下位尺度合計			4.51	1.93	0.70	4.64	2.00	0.65	4.42	2.20	0.34	5.00	2.61	0.45
DAPR7	死は解放1	Wong29	私は、死をこの人生の重荷からの解放と思っている	1.83	1.01	2.03	1.10		2.43	1.49		3.00	1.35		
DAPR8	死は解放2	Wong23	私は、死とはこの世の苦しみから解放されることだと思っている	1.79	0.95	1.96	1.09		2.60	1.54		2.69	1.38		
	下位尺度合計			3.61	1.90	0.89	3.99	2.11	0.86	5.03	2.83	0.75	5.69	2.66	0.89
DAPR9	死の自然受容1	Wong24	死は、単に人生のプロセスの一部にすぎない	3.13	1.29	3.04	1.21		4.60	0.93		4.15	1.34		
DAPR10	死の自然受容2	Wong14	死は、人生の自然な側面の一つである	4.10	0.90	4.08	1.01		4.85	0.60		4.38	1.26		
	下位尺度合計			7.23	2.00	0.43	7.13	1.83	0.35	9.45	1.31	0.44	8.54	2.30	0.55

15 空想対話尺度 FDS

空想対話尺度は、死生観と関係ない領域での空想

対話のしやすさを表している。中国の空想対話は、きわめて高い値となった。F(2,721)=92.2***

表19 空想対話尺度

空想対話尺度	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n, α 係数	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD
ぬいぐるみを生きているかのように	FDS1	2.3	1.3	0.48	2.1	1.3	0.45	3.29	1.43	0.10	3.00	1.35	0.31
心の中で話しかける	FDS2	2.4	1.4	0.58	2.3	1.4	0.62	4.01	1.29	0.31	4.25	0.62	-0.03
もう一人の自分と話して	FDS3	2.6	1.4	0.51	2.7	1.4	0.46	3.53	1.49	0.23	3.83	1.27	0.06
架空の人に宛てた手紙	FDS4	1.5	1.1	0.50	1.6	1.0	0.46	2.18	1.55	0.29	3.42	1.38	0.44
遠くから何かメッセージ	FDS5	1.5	1.0	0.38	1.6	1.0	0.47	1.66	1.13	0.22	2.67	1.67	0.48
尺度値		10.4	4.3		10.4	4.3		14.7	3.83		17.2	3.71	

グラフ 8 の右側は、空想対話の 4 地域比較である。世界的には中国とインドで空想対話が高いことが興味深い (中村 2005b, 6 章)。文化的に容認

された傾向であるといえよう。

死生観の日中比較 靈魂観に差異はあるか

16 相互協調性尺度SCS

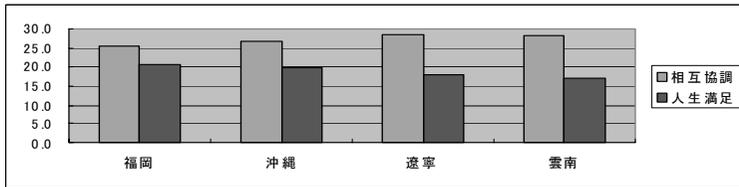
Singelis 1994のSelf-Construal Scale相互協調性尺度であり、個人の中の相互協調性と独立的な自己観を示している。遼寧、雲南とも日本よりも

高いが、インド、バリ、ジャカルタよりも低い値を示した(中村2005b)。第4項目(同じように振る舞う)が別の動き方をしたことで、本尺度の中国版の一貫性は低下している。

表20 相互協調性尺度

相互協調性尺度	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n、α係数	平均	SD	全体とのr	平均	SD	全体とのr	平均	SD	相関	平均	SD
		211	0.67		234	0.67		271	0.53		13	0.34	
グループの調和が大切	SCS6-1	5.2	1.3	0.56	5.1	1.3	0.54	6.18	0.97	0.39	6.00	1.00	0.37
グループの調和に自己犠牲	SCS6-2	3.9	1.4	0.60	4.0	1.3	0.55	4.80	1.52	0.47	4.69	1.44	-0.02
人間関係大切	SCS6-3	4.2	1.3	0.52	4.5	1.4	0.44	4.54	1.61	0.41	4.77	1.01	0.57
同じように振舞う	SCS6-4	3.6	1.4	0.08	3.7	1.5	0.20	2.93	1.64	0.02	3.23	1.74	-0.36
両親の意見を考慮	SCS6-5	4.2	1.4	0.22	4.5	1.3	0.30	4.75	1.56	0.10	4.38	1.26	0.43
グループの決定は大切	SCS6-6	4.6	1.1	0.54	4.8	1.1	0.43	5.33	1.19	0.44	5.15	0.90	0.65
	尺度値	25.7	4.8		26.5	4.8		28.5	4.71		28.2	3.63	

グラフ10 相互協調尺度と人生満足度尺度の4地域比較



17 人生満足度尺度SWLS

Dienerら1985人生満足度尺度SWLSを用いた。

中国では人生満足度 (SWLS)は、ともに低い値を示した。

表21 人生満足度

人生満足度尺度	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南		
		n、α係数	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD
		211	0.82		233	0.82		273	0.61		12	0.92	
私の人生は理想	SWLS1	3.8	1.3	0.66	3.6	1.3	0.65	3.66	1.50	0.43	3.58	1.62	0.77
状況は良い	SWLS2	4.6	1.1	0.61	4.4	1.3	0.61	4.58	1.45	0.54	4.08	1.44	0.88
人生に満足	SWLS3	4.4	1.3	0.73	4.2	1.5	0.70	4.30	3.30	0.33	3.67	1.44	0.86
大切な物事	SWLS4	4.9	1.1	0.52	4.6	1.3	0.58	2.92	1.44	0.42	3.25	1.60	0.76
やり直しても変えない	SWLS5	3.2	1.4	0.56	3.1	1.5	0.52	2.48	1.27	0.39	2.58	1.31	0.70
	尺度値	20.9	4.7		19.9	5.2		17.9	6.07		17.2	6.45	

18 死別うつ尺度

表22 死別うつ尺度

死別うつ尺度	尺度ラベル	福岡			沖縄			遼寧			雲南						
		n、 α	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関	平均	SD	相関			
長く体調	ADDS1	201	2.25	1.2	0.65	211	2.28	1.2	0.64	259	2.27	1.37	0.60	12	2.17	1.19	0.87
長く悲しみ	ADDS2		3.27	1.3	0.77		3.15	1.4	0.73		2.81	1.48	0.78		2.17	1.03	0.96
長い間思い出した	ADDS3		3.01	1.3	0.83		2.99	1.3	0.79		2.38	1.36	0.76		2.17	1.19	0.93
記念品をしばしば	ADDS4		2.78	1.3	0.59		3.19	1.4	0.65		2.54	1.50	0.65		2.92	1.17	0.68
後悔した	ADDS5		3.34	1.3	0.63		3.19	1.4	0.61		3.24	1.50	0.35		2.58	1.51	0.73
強くゆううつ	ADDS6		2.66	1.3	0.79		2.63	1.3	0.80		2.32	1.33	0.75		2.42	1.08	0.82
死にたい気持ち	ADDS7		1.55	0.9	0.42		1.51	0.9	0.40		1.41	0.86	0.43		1.83	1.12	0.94
空虚感	ADDS8		2.94	1.4	0.64		2.61	1.4	0.61		2.47	1.52	0.51		3.00	1.28	0.73
Scale Mean	Scale mean		21.8	7.6			21.0	7.7			19.4	7.75			19.3	7.42	

グラフ11 死別うつ尺度（死別者限定）の3地域比較

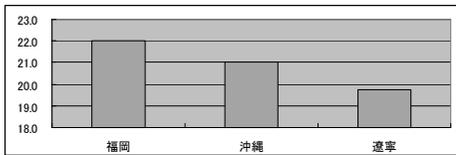


表22は、死別うつ尺度の項目分析である。中国語版でも一定の信頼性が得られた。ただし、身近な死別に限らない人も含んでいるデータである。中国では遼寧省、雲南省ともに、低かった。なく

なった人は、祖父母が圧倒的に高かった。死者の内訳は祖父母が高かった。

中国では葬式において、大いに泣き、悲しむことで知られているが、逆に長引くうつ状態は少ないことが分った。F(2,642)=4.9**

19 宗教別人数

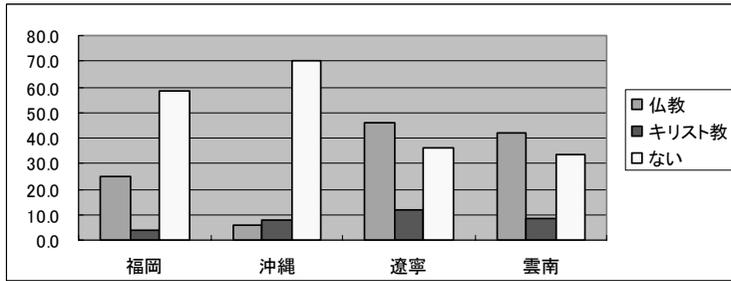
中国遼寧省は、仏教、キリスト教、道教の順であった。「ない」としたものが36%おり、日本との類似性を若干示したが、日本よりも「仏教」と答えるものが多い点が異なる。

表23 宗教別分布

	中国語訳	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
		n=211	%	n=246	%	273	%	12	%
仏教	仏教	54	25.2	14	5.7	123	45.9	5	41.7
神道	道教	4	1.9	1	0.4	6	2.2	0	
キリスト教	基督教	9	4.2	19	7.7	31	11.6	1	8.3
イスラム教	イスラム教	0		0		0		0	
ヒンドゥー教	インド教	0		0		0		0	
ジャイナ教	拝火教	0		0		0		0	
シーク教	シーク教	0		0		0		0	
ユダヤ教	ユダヤ教	0		0		0		0	
その他	その他	2	0.9	13	5.3	12	4.5	2	16.7
宗教はない	ない	125	58.4	172	69.9	96	35.8	4	33.3

死生観の日中比較 靈魂観に差異はあるか

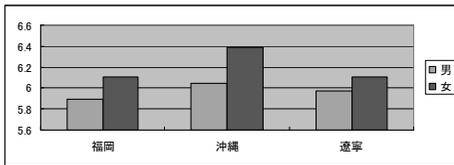
グラフ12 宗教分布の4地域比較



20 ターミナルケア項目

死を前にしたとき何をするかを選択式で聞いたもののうち、オルタナティブ志向（手術などの治療でなく、緩和ケアを選ぶこと。0-2点）の得点は、大きな違いはないが、沖縄と遼寧の間では有意差がある。F(2,713)=3.9**
ともに女性の方が高い。

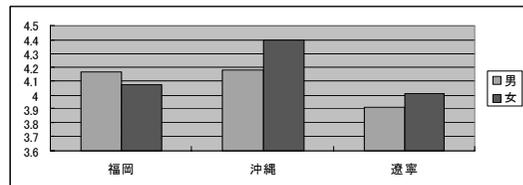
グラフ13 緩和ケア希望の3地域比較



自分がガンなどの病気で命が短い時、医師から教えて欲しい（5件法）への回答は、日本の方が中国より高く、沖縄と遼寧の間で有意差がある

(F(2,714)=8.0**)が、世界的にはともに高いと言える。

グラフ14 告知希望の3地域比較



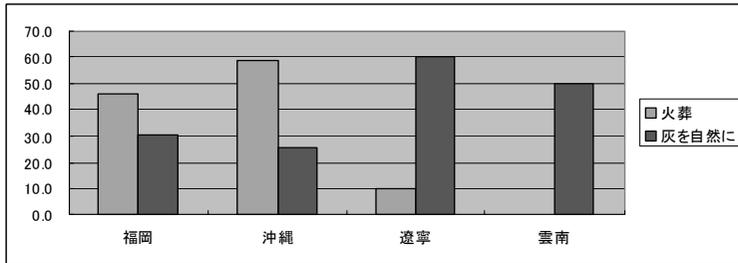
21 自分の葬式の希望形態

希望する墓の形態は大きく異なり、日本で火葬後に墓に入る希望が多いのに対し、中国では圧倒的に灰を自然に撒かれることを希望している。雲南だけは、土葬後の火葬という2重形態を希望している人がいた。これは、バリ島に近い。

表24 希望する墓の形態

	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
	n	%	n	%	n	%	n	%
火葬墓	99	46.5	141	59.2	27	9.9	0	
火葬納骨堂	38	17.8	9	3.8	30	10.9	0	
灰自然	64	30.2	61	25.5	164	59.9	6	50.0
土葬	8	3.8	4	1.7	21	7.7	0	
洗骨墓	0		7	2.9	2	0.7	0	
そのまま	4	1.9	8	3.3	27	9.9	1	8.3
土葬後火葬し灰を自然に	3	1.4	6	2.5	11	4.0	3	25.0

グラフ14 火葬と灰



22 家族構造とコミュニティ

祖父母と同居した経験は、中国の方が高い。大家族経験率も、中国が圧倒的に高い。儀式を教え

る人が母親、祖母である点も日中の共通性は高いようである。ただし、雲南省の少ないデータは、これとは違う傾向を示した。

表25 家族構成と儀式教育

	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
n	214	%	246	%	274	%	12	%
祖父母との生活あり	109	51.4	100	42.9	207	75.8	11	91.7
おじお婆と大家族あり	27	12.9	33	14.2	119	43.8	10	83.3
儀式を教えてくれたのは								
父	25	11.7	24	9.8	20	7.3	0	0
母	82	38.3	94	38.2	69	25.2	1	8.3
祖父	18	8.4	18	7.3	19	6.9	1	8.3
祖母	66	30.8	68	27.6	44	16.1	1	8.3
その他	26	12.1	31	12.6	106	38.7	7	58.3

地域で法事などの助け合いをするという人は、日本では4割以上居るのに対して、中国ではきわめて少数である。地域の持っている意義が異なっ

ていると思われる。あるいは、親族だけの排他的なものとなるのか、儀式が少なくなっているかと思われる。

表26 法事の助け合い

	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
n	214	%	246	%	274	%	12	%
地域で法事などの助け合いをする								
する	88	41.9	104	45.0	20	7.4	2	20.0
しない	122	58.1	127	55.0	248	91.9	8	80.0

表27は位牌がどこにあるかを問うたものである。日本では、今の家、親、兄弟、祖父母の家というのが圧倒的に高い。ところが、中国では、位

牌がないという人が圧倒的に高い。これは、伝統的には位牌は存在したことを考えると、革命後に儀式が廃れたことを意味していよう。

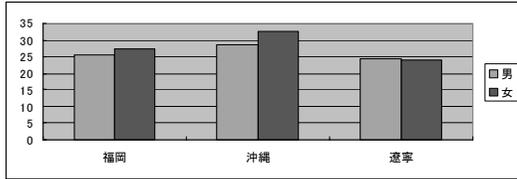
表27 位牌の場所

	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
n	214	%	246	%	274	%	12	%
今の家	38	17.8	39	15.9	20	2.4	0	0
親、兄弟、祖父母の家	102	47.7	97	39.4	40	8.0	1	9.1
親戚の家	45	21.0	62	25.2	48	16.0	1	9.1
他の人の家	20	9.3	16	6.5	13	5.2	1	9.1
ない	3	1.4	7	2.8	123	49.2	8	72.7

23 一般健康調査(尺度ラベル:GHQ12 12項目)

GHQ(不健康度)を比較すると、沖縄が一番高く、福岡、遼寧の順であった。F(2,575)=53.0***

グラフ16 GHQの3地域比較



24 その他の指標

中国データだけ、民族を聞いているので、以下にその分布を示す。漢民族が圧倒的に多かったが、遼寧で満族、蒙古族が、雲南で壮族、傣族が見られた。

表28 被験者の民族分布(中国のみ)

民族別	遼寧		雲南	
	人	%		
	277		12	
1 漢族	248	89.9	9	75.0
2 壮族	0		1	8.3
3 回族	0		0	
4 満族	18	6.5	0	
5 朝鮮族	2	0.7	0	
6 蒙古族	8	2.9	0	
7 藏族	0		0	
11 傣族	0		1	8.3
12 その他	0		1	8.3

また、移民、移動経験を示したのが、表29である。これによると、代々その地区に住んでいる人は、沖縄で82%で高く、次いで福岡が56%で高かった。遼寧は代々遼寧省にいる人は39%で低く、44%の人は数代前の移民であった。

表29 移民経験

	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
	n	%	n	%	n	%	n	%
代々	120	56.3	199	82.2	105	38.5	4	30.8
数代前	16	7.5	5	2.1	119	43.6	2	15.4
父母の代	19	8.9	10	4.1	21	7.7	0	
子どもの時	9	4.2	7	2.9	3	1.1	2	15.4
大学から	32	15.0	15	6.2	10	3.7	1	7.7

25 年齢、性別

年齢別人数、男女別人数を表30、31に示す。と

もに20代が多く、女性が多いのは、大学をベースに調査をしたことの結果である。

表30 被験者の年齢分布

	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	46	21.6	69	28.5	1	0.4	4	36.4
20代	38	17.8	105	43.4	216	78.5	4	36.4
30代	68	31.9	43	17.8	51	18.5	3	27.3
40代	61	28.6	20	8.3	6	2.2		
50代			5	2.1	1	0.4		

表31 性別

性別	福岡		沖縄		遼寧		雲南	
	n	%	n	%	n	%	n	%
男	73	34.9	87	36.4	76	27.9	2	16.7
女	136	65.1	152	63.6	196	72.1	10	83.3

考察

東アジアにおける死生観、靈魂観には、差異があるのであろうか。日中両国とも、道教、神道などを背景とし、仏教を受け入れてきた歴史的背景が共通しているが、大きな差異はないのであろうか。それとも、革命という社会変化を経て、大きな違いが存在するようになったのであろうか。これらを、統計的な手法を用いて、さらに他の地区との比較を交えながら明らかにするのが本研究の目的である。

1の「魂の居場所」からは、「家の中」「大切な人のそば」「天の上」など共通のイメージが見られた。ただし、詳しく見て行くと、中国では「墓にいる」という考え方がきわめて低いこと、「宇宙の彼方」に存在するという考え方が高いこと、死後に「地下」に行くという考えがみられることが特徴である。つまり、中国では、死者の魂を日本よりも遠ざける傾向があるのではないか。地下のイメージは、日本にこれが少ないことの方が驚きであろうが、神話の中では地下の洞窟が見られるので、古来あったことは確かである。

次に、「死後の行き先を誰が決めるか」では、「神」の持つ影響力が日本より低いが、他の地域と比べるとともに低いと言える。また、「魂」が自律して決めるというシャーマニスティックな考えは日本よりも低く、中国は世界的にも低いと言える。これに対し、「消滅」という唯物論、「元素」にもどるといった還元論がきわめて高く、いわばファンタジーよりも現実という傾向を示した。

中国では、祖先信仰は日本と共通しているもの、お盆については大きな違いが見られた。日本におけるお盆は、中国では鬼節であり、中元節である。中村他(2004a)に紹介したように、徐華竜(1995)の「中国の鬼」(青土社)は、中元節の起源として仏教起源説と道教起源説以外に祭祖説をあげ、中国の庶民の風習は仏教、道教以前からそもそも広く流布していたとする。この日は「祖先を迎えるために、どの家でも紙銭とごちそうを用意して祖先をまつ」とする。これを受けて、中村(2004)は、日本でも仏教、道教の影響以前からお盆に相当するものが(降霊祭のような形で)あったと推論した。このお盆(鬼節)で魂が戻ることが、革命後50年経った中国でも36%の人によって(清明節以上に)イメージされていることは、感慨無量である。ただし、現代日本でお盆が80%の人によって(福岡では新暦旧暦どちらかで77.5%、沖縄では85.7%がお盆に魂が戻るとした)イメージされていることは、中国から見ると驚き

であろう。

靈魂については、中国では日本に比べて信じない傾向がきわめて強かった。これからも、中国は唯物論的な志向が強いことが分る。

祖先対話尺度は、中国は日本とほとんど同じであり、死者、祖先と対話、報告をしていることが分った。中村(2005b)で述べたように、インドネシアのイスラム教地区やヒンドゥー文化圏であるインドで、祖先対話が低く、神との対話に収斂されていることを考えると、日本と同じく祖先、死者との対話の頻繁な地域が東アジアに広がっているという今回の知見は、きわめて重要なものである。日本は、決して文化的に孤立していないということが分ったのである。また、神への対話、帰依などの神尺度は、日本も中国も低く、ここでも共通性が見られた。

さて、死後に「家族や知人」に会うという発想は日中で共有されており、最後の審判的な考え方が少ない点も共通であるが、中国では仏教的な考え方が高いのが日本との違いである。日常にお供えするものも祈るものも、祖先と同時に仏、菩薩が上位に来るのが中国である。逆に言うと、これだけ仏教が入っているとされる日本で、仏への祈りも少なく、「解脱」の考え方もきわめて低いことは驚きかも知れない。一方で、輪廻観だけは日本は中国と同じく高い。輪廻尺度となると日本は圧倒的に高い。逆に考えると、輪廻観は仏教以前から東アジアに広く存在したと考えることも可能である。

次に、日常的シャーマニズムを見ると、変容シャーマニズム尺度は日本の方が高く、委任シャーマニズムは雲南と沖縄(ともにシャーマンが文化的に容認されていると思われる)が高い一方で福岡、遼寧は低いという結果となった。空想シャーマニズムは中国が高く、ここでも空想力の高さが特徴となった。

スピリチュアリティ尺度は、委任シャーマニズムの低い地域で逆に高くなった。

死への態度尺度は、日中で大きな違いが出た。日本の方が、死は自然なことではなく、恐怖に思っているが、受容はしており、一方、中国では、死は自然でありながら解放である点が大きく異なっていた。

死別うつ尺度は、日本の方が高い。日本では悲しみを形に表わさない文化があるが、中国では大いに泣き悲しむ文化がある。死別の儀式的持ち方がのちのうつ状態に影響しているかも知れない。これは更に年齢層の高い人のデータをそろえると

ともに、インタビューなどで確認する必要がある。法事、位牌の持ち方も、日中で大きく変わってしまった可能性がある。しかし、形式を超えて、死者、祖先との対話があることは、日中の共通性である。

死後のイメージとして、灰を自然に撒くというのが圧倒的に中国では高かったことが、日本人としては驚きであった。

その他、社会的な側面でも大きな違いが見られ、大家族は中国が多く、相互協調性も中国の方が高く、集団主義が認められた。

以上をまとめると、日本と中国の死生観、靈魂観には、きわめて共通性が高く、若干の違い（中国の方が、唯物論的である）があるものの、本質的には同じであるといえる。したがって、死者との対話、死者を尊敬するという発想は、共通していると言える。それらは、神を通さずに直接できるという点も共通である。

引用文献

- Diener, E., Emmons, R. A., Larsen, R. J., & Griffin, S. (1985). The satisfaction with life scale. *Journal of Personality Assessment*, 49, 71-75.
- 中村俊哉 2004 南アジアの死生観 インタビュー法から 福岡教育大学紀要 53-4 247-263
- 中村俊哉, 倉元直樹, 中島義実 2004 死生観国際比較のための尺度作成について -日本における祖先対話, 輪廻, 日常的シャーマニズム- 福岡教育大学紀要 53-4 265-280
- 中村俊哉, 中島義実, 倉元直樹, 中村幸, イ・カデ・アンタルティカ 死生観と死別体験の国際比較: 福岡, 沖縄, ベンガル, バリの比較から見えるもの 福岡教育大学紀要 54-4 223-240
- 中村俊哉 2005 インドネシアの死生観: バリ, ジャカルタ, ジョグジャカルタにおけるインタビューから 福岡教育大学紀要 54-4 199-221
- 中村俊哉 2005b 科研報告書 研究課題 文化による死生観・介護観の差異・変容に関する心理福祉学的調査研究 課題番号 13571007
- 胡金生, 中村俊哉, 董光恒 2005 大学生生死観量表的修訂 The Chinese Version of Attitudes toward Life and Death Scale for College Students, 中国心理衛生雑誌 第19巻 第7期 Chinese Mental Health Journal Vol

19, NO. 7 470-472

Singelis, 1994, *Personality and social psychology bulletin*, 20, 580-591.

Wong, P. T., Reker, G. T., Gesser, G. 1997 *Death Attitude Profile-Revised: A Multidimensional Measure of Attitudes toward Death*. In Neimer ed. *Death Anxiety Handbook*, Taylor&Francis, Ch. 6

謝辞

中国語訳の作成にあたり、申 琳琳さん（福岡教育大学学部生）、陳 紹崢さん（福岡教育大学大学院生）、また大連での通訳してくれた金 芳さん（元福岡教育大学留学生、遼寧師範大学学生）、データ入力に協力してくれた福岡教育大学の渡邊 資子、近藤永二、江頭大樹、柴田直也、武本匡平、福留大輔、今泉千春、黒木美貴、丸山慶恵さん、そして科研事務にご尽力いただいた石谷佳子さんに心より感謝申し上げます。